

RTView® の最新バージョン 6.3 をリリース

ヒストリアン(履歴)やシンクライアント運用を機能拡張し、性能データのリアルタイムな可視化と監視ダッシュボードのカスタム構築でさらに強化

2014年3月7日 プレス・リリースより:

リアルタイム・データのグラフィックな可視化と監視ツールの提供でリードする SL ジャパンは、ヒストリアン(履歴)やシンクライアント運用でさらに機能拡張した SL 社の RTView 新バージョン 6.3 を、リリースしました。

この最新版は、ログデータや SNMP データなど、さまざまな既存の性能と可用性データに接続したリアルタイムな可視化と監視ダッシュボードのカスタム構築を、さらに強化するものです。

主にアラート機能やカスタム関数などを拡張した昨夏リリースの新 V6.2 に続き、今回の最新バージョン 6.3 では、任意の DBMS に接続できる RTView の高度なヒストリアン機能に数々の拡張を施し、複数の異なる DBMS のサポートを強化した他、高速な大量データ格納時におけるデータ・ロス防止ならびにデータ圧縮の確実な実行で性能強化しました。

これによって、高度なカスタム性能監視システムの容易な構築と運用をより一層強力に支援します。

☆プレス・リリース全文: http://www.sl-j.co.jp/newsevents/pressrelease/2014/slj_press_140307.shtml



RTView のシンクライアント機能を使い、iPad で米 SL 本社に設置された RTView ディスプレイ・サーバにアクセスし、クラウドで稼働するアプリケーション・サーバを監視

SL-GMS Developer for .NET におけるオーバービュー機能【新デモビデオ】

SL-GMS を使って開発する監視制御システムでよく実装される人気機能の一つ

「オーバービュー」ウィンドウ(またはパネル)は、SL-GMS を使って開発する監視制御システムでよく実装される人気の機能の一つです。

SL-GMS (C++, Java または Microsoft .NET) では、高速に実行できる画面のズームやパンを簡単に実装できますが、さらに複雑で大きな系統図や地図背景などの画面では、現在全体のどの範囲が表示されているのかを視覚的に示す「オーバービュー」ウィンドウ(またはパネル)が使用されます。

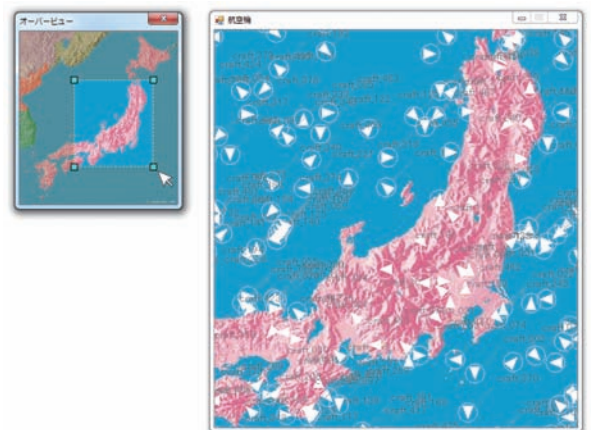
オーバービューでは、画面全体を縮小したサイズで表示し、メイン画面でユーザがズームしてパンしても、オーバービューでは引き続き画面全体を表示し、メイン画面で現在表示されている範囲を動的な矩形で示します。

さらに、オーバービューでこの矩形をドラッグして、メイン画面をズームしたりパンするのに使用できます。また、詳細な系統図や地図などの表示では、オーバービューでは画面全体をよりハイレベルにまとめて軽くした別のモデルを表示させるように設定することも可能です。

SL-GMS Developer for .NET 製品では、オーバービューの基本的機能を実装したサンプル・プログラムをご用意しておりますので、ご興味のあるお客様はぜひご用命ください。

☆オーバービュー機能の新デモビデオ(2分8秒): <http://www.sl-j.co.jp/demovideo/dotnet/overviews/overviews.html>

こちらは SL-GMS Developer for .NET 製品でご紹介していますが、SL-GMS J/Developer (Java) などの他 SL-GMS 製品でも同様に実装できます。



昨年、SL-GMS Developer for .NET (Microsoft .NET) 製品ならびに SL-GMS C++/Developer 製品で Windows 8 に対応した新バージョンをリリースしましたが、Java をベースにした SL-GMS J/Developer ならびに J/Net 拡張オプション製品のサポートバージョン 4.2a においても、米 SL 本社におけるテストを経て、Windows 8 を正式にサポート追加しています。

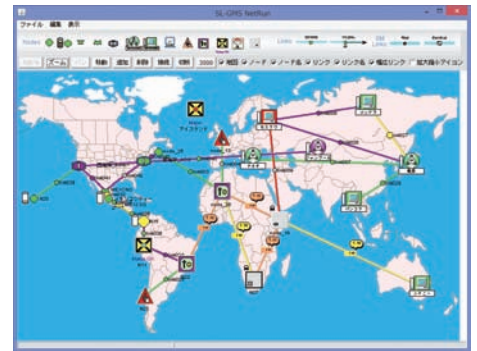
◆新しい Java バージョンによる注意事項について:

最近の JDK 1.7.0 以上では、そのセキュリティ強化により Java アプレットならびに Java Web Start アプリケーションはローカル・ディスクからは起動できません。Web サーバ経由で実行する必要があります。

また JDK 1.7.0 以上では、Web サーバ経由の実行において、Java アプレットならびに Java Web Start アプリケーションには署名が必要です。ユーザは Java のセキュリティ設定を「中」にすることで署名なしでも実行できますが、警告ダイアログが表示されます。こちらも Java 側のセキュリティ強化によるものです。

☆SL-GMS J/Developer による、比類なくコンパクトで高速な Java アプレット・デモ:

http://www.sl-j.co.jp/applets_demo/applets_demo.shtml



SL-GMS J/Net によるネットワーク監視

RTView® によるヒストリアン (履歴) のカスタム設定【新デモビデオ】

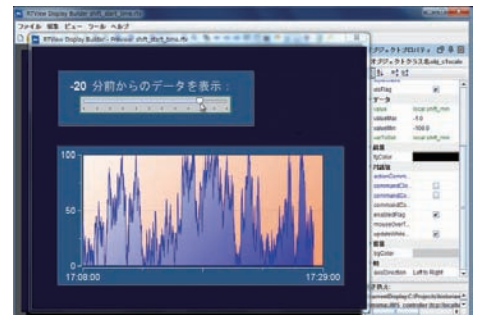
RTViewでは、任意のJDBC/ODBC対応のデータベースに履歴データをアーカイブできる高度なヒストリアン機能を提供しています。これによって、リアルタイム・データを履歴データとともに監視でき、より効果的な性能指標の分析を可能にしています。

RTView のヒストリアンでは、ルールをカスタム設定して、データをどのように集約して圧縮するかを定義し、格納するデータ量を減らすことが可能です。さらに、インメモリ・キャッシュと物理的なデータベース間で透過的にデータを圧縮・展開してエイジング管理します(データ圧縮ヒストリアン・サーバオプションが必要)。

またアーカイブされた履歴データは、SQL データ接続アダプタを介して監視ダッシュボード画面に、トレンドグラフなど任意のオブジェクトを使って指定時間範囲でカスタム表示できます。

☆「RTView ビルダーでヒストリアン (履歴) をカスタム設定」デモビデオ (2分32秒):

http://www.sl-j.co.jp/demovideo/ertv/rtview_historian/rtview_historian.html



RTView® におけるキャッシュ機能の活用【新デモビデオ】

RTViewが備えている高度なキャッシュ機能によって、リアルタイム・データの高速度集約・分析・表示が可能で、またインメモリ・キャッシュにある現在のリアルタイム値を、RTViewのヒストリアン機能を使って履歴データと視覚的に比較することも可能です。

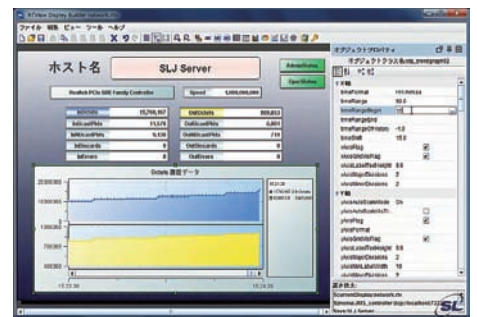
さらに、キャッシュ・データは指定した振る舞いやアクションを自動的に起動するアラートルールへの入力データとしても利用できます。

メモリに常駐させるデータ・キャッシュはRTViewビルダーで簡単に定義でき、現在のスカラー値やオプションでフィルタの付いた表形式データに加え、タイムスタンプ付きのスカラーデータや表形式データを(構成可能なエントリまで)格納することが可能です。

さらに、最新の情報のみを保持し、古いエントリは破棄または履歴キャッシュに保持することができます。また、キャッシュの履歴テーブルはメモリに保持されますが、RTViewのヒストリアン機能を使って、キャッシュの履歴データを任意のJDBC/ODBCデータベースに格納することが可能です。

☆「RTView のキャッシュ機能の活用について」のデモビデオ (4分3秒):

http://www.sl-j.co.jp/demovideo/ertv/rtview_cache/rtview_cache.html



Real-Time Visibility

年3回発行 2014年5月27日発行 通巻48号

◆記載される会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。
◆記載内容は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。
◆記載事項の一部または全部の無断転載を禁じます。



株式会社 SL ジャパン

〒107-0062 東京都港区南青山3-8-5 アーバンプレム南青山 3階
Tel. 03-3423-6051 info@sl-j.co.jp www.sl-j.co.jp